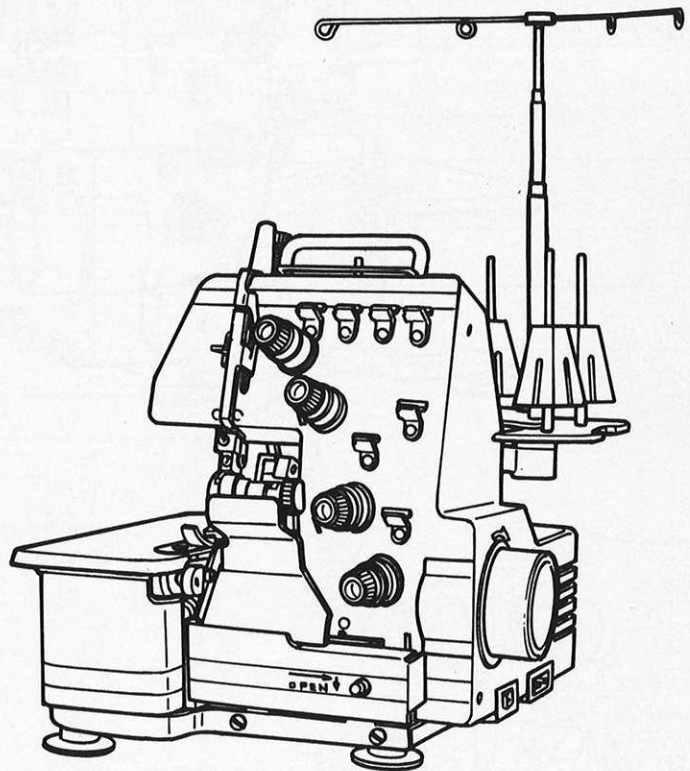


# ベビーロック

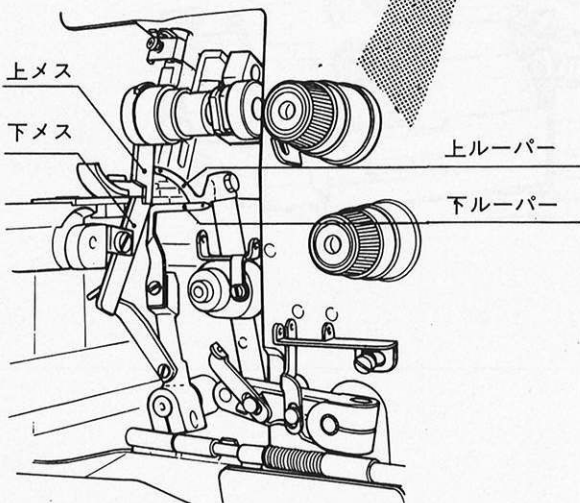
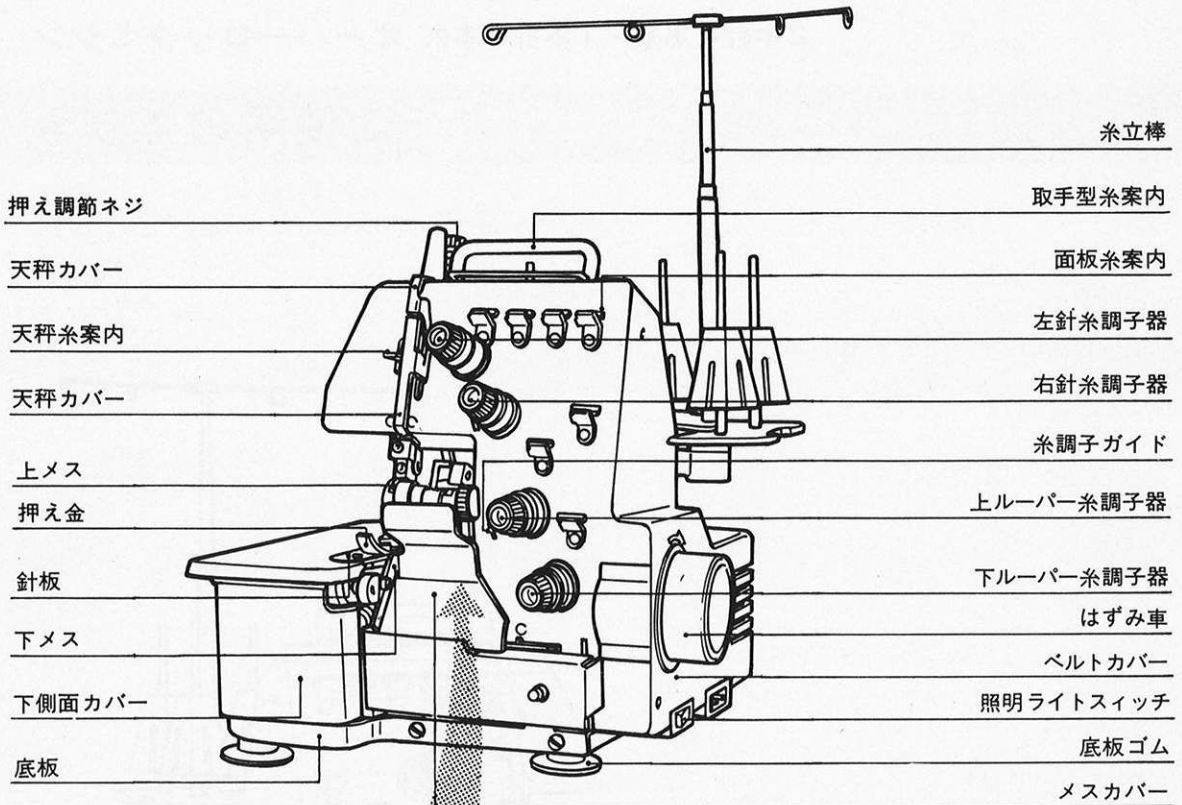
BL4-434・436・436DF型

2本針4本糸・1本針3本糸 オーバーロックミシン

ご使用のてびき

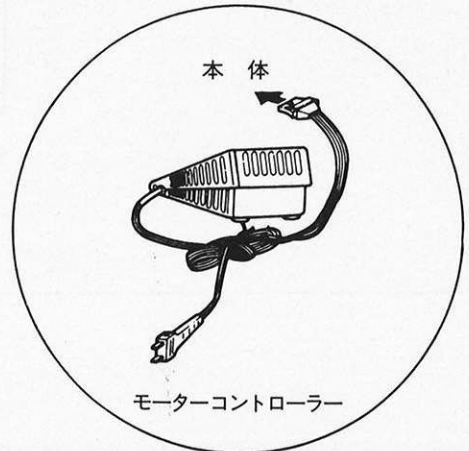


# 各部の名称



ルーパー部詳細図

※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。  
また、コントローラーの上に物をのせないでください。



# はじめに

このたびは、ベビーロックをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

このミシンは、世界ではじめて小型ロックを生みだした弊社の永年の技術と厳重な品質管理によって開発されました。

このたびきをよくお読みになり、末永くご愛用下さい。

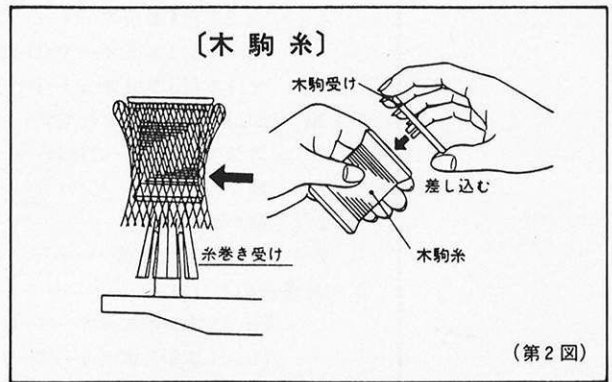
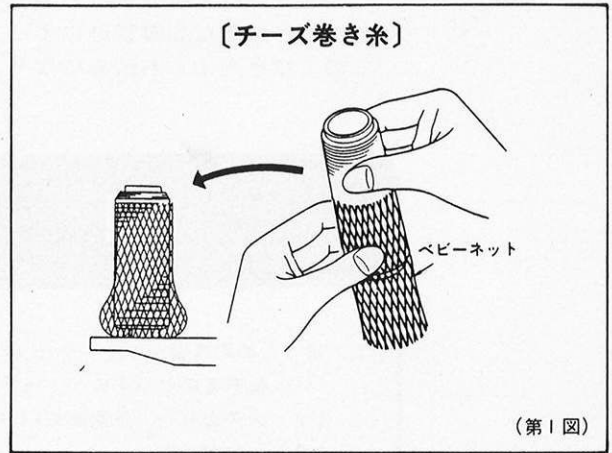
## 目 次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 縫うための準備                      | 1  |
| 1-1 糸巻きのセット                     | 1  |
| 1-2 メスカバー、下側面カバーの開け方            | 1  |
| 1-3 糸のかけ方                       | 2  |
| 〔a. 2本針4本糸オーバーロック縫い-6.2%幅-の糸かけ〕 | 2  |
| 〔b. 1本針3本糸オーバーロック縫い-6.2%幅-の糸かけ〕 | 4  |
| 〔c. 1本針3本糸オーバーロック縫い-4.0%幅-の糸かけ〕 | 4  |
| 2. 縫いはじめと糸の簡単な交換                | 5  |
| 2-1 コントローラーの接続                  | 5  |
| 2-2 縫いはじめ                       | 5  |
| 2-3 縫い終わり                       | 6  |
| 2-4 糸の簡単な交換                     | 6  |
| 3. 糸調子のとり方                      | 7  |
| 〔a. 2本針4本糸オーバーロック縫い-6.2%幅-の糸調子〕 | 7  |
| 〔b. 1本針3本糸オーバーロック縫い-6.2%幅-の糸調子〕 | 8  |
| 〔c. 1本針3本糸オーバーロック縫い-4.0%幅-の糸調子〕 | 8  |
| 4. 押え圧力の調節                      | 9  |
| 5. 送り目の調節                       | 9  |
| 6. メスの交換について                    | 10 |
| 6-1 下メスの取りかえ方                   | 10 |
| 6-2 上メスの取りかえ方                   | 10 |
| 7. 針の交換                         | 11 |
| 8. 照明ライトの交換                     | 11 |
| 9. 注油                           | 12 |
| 10. 点検と調整                       | 12 |
| 11. 巻きロックとして使用する場合              | 13 |
| 11-1 針板の交換                      | 13 |
| 11-2 糸調子のとり方                    | 13 |
| 12. BL4-436DFで伸縮縫いをする場合         | 14 |
| 13. BL4-436DFでバルキー押え金を使用する場合    | 15 |
| 14. 布地と糸の関連表                    | 16 |

# 1 縫うための準備

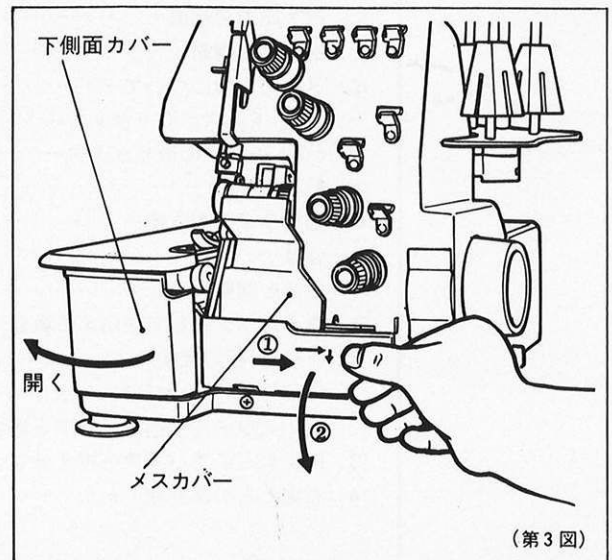
## 1-1 糸巻きのセット

- このミシンには普通チーズ巻き（又コーン巻き）の糸を使いますが、木駒糸もお使いになれます。この場合、次のように付属の木駒受けを木駒の穴に差し込んで糸巻き受けの上のるようにセットしてください。又、化繊糸などのほつれやすい糸は、付属のベビーネットをご使用下さい。



## 1-2 メスカバー、下側面カバーの開け方

- メスカバーは右へいっぱい引いて、手前に倒す。
- 下側面カバーは左へ開く。

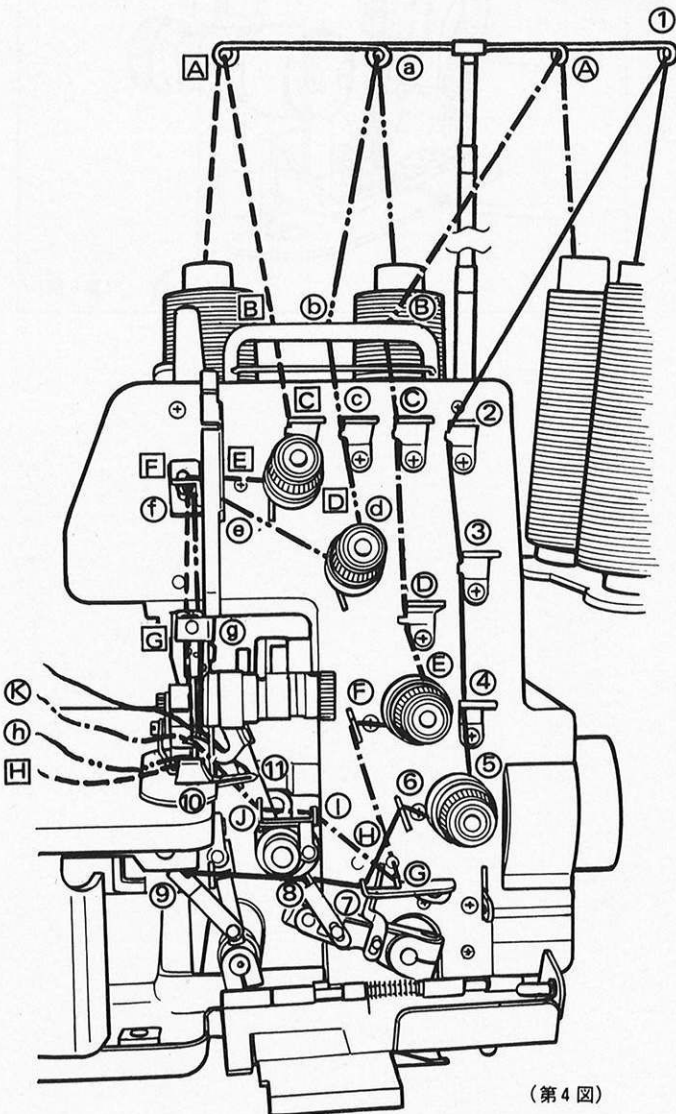
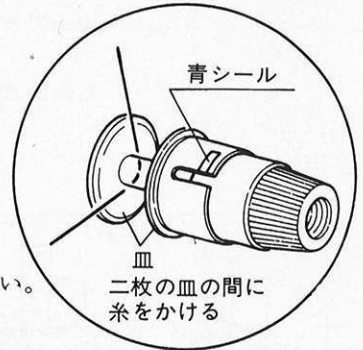


### 1-3 糸のかけ方

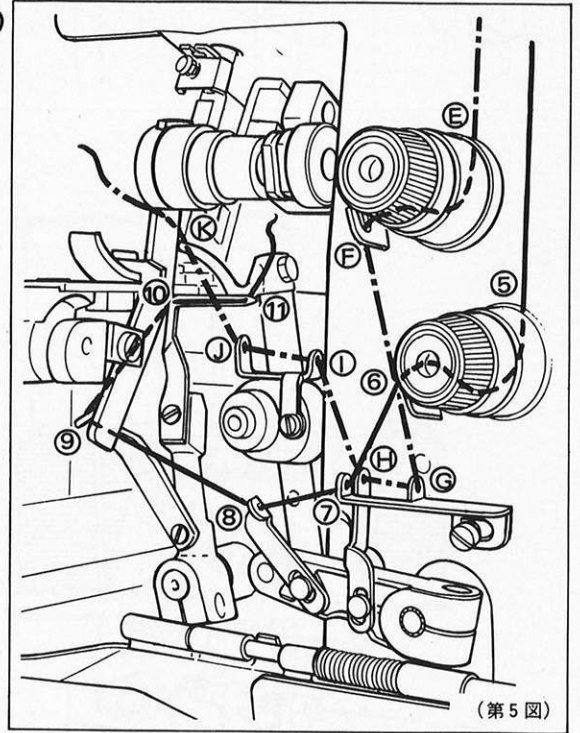
このミシンの上・下ルーパー糸、左・右針糸の各糸道は、それぞれ4色に色別化されています。  
下側面カバーを開けると、糸かけシールが貼付されております。

#### [a. 2本針4本糸オーバーロック縫い-6.2mm幅-の糸かけ]

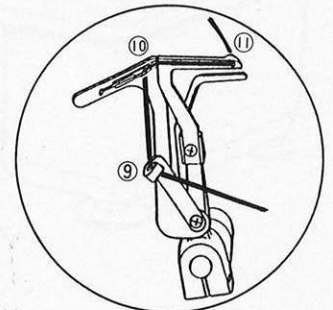
- メスカバー、下側面カバーを開ける。
  - 以下の手順に従い、糸をかける。
    1. 上ルーパー糸(緑色)をA ~ Kの順にかける。(図4, 5)
    2. 下ルーパー糸(青色)を① ~ ⑪の順にかける。(図4, 5)
    3. 右針糸(黄色)をa ~ hの順にかける。(図4, 6)
    4. 左針糸(朱色)をA ~ Hの順にかける。(図4, 6)
- ⑩ 各糸調子器に糸をかける場合、必ず二枚の皿の間に糸をかけて下さい。  
又、糸かけには付属のピンセットをご使用下さい。



(第4図)

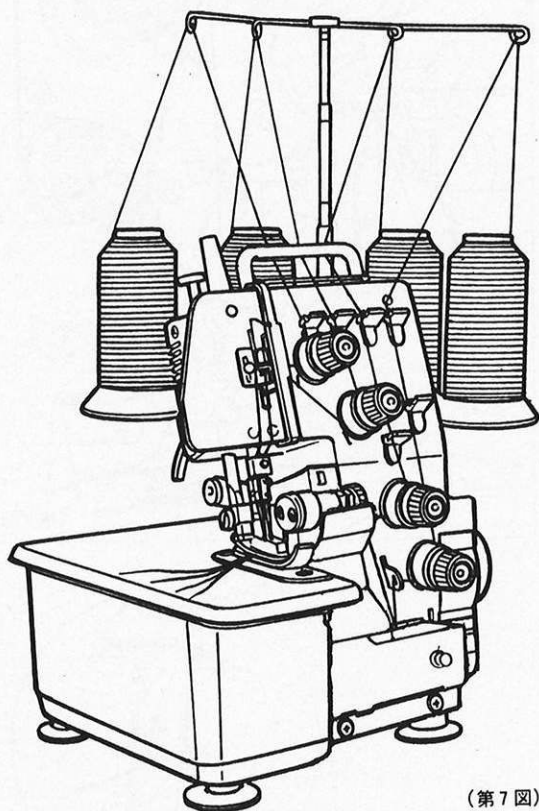
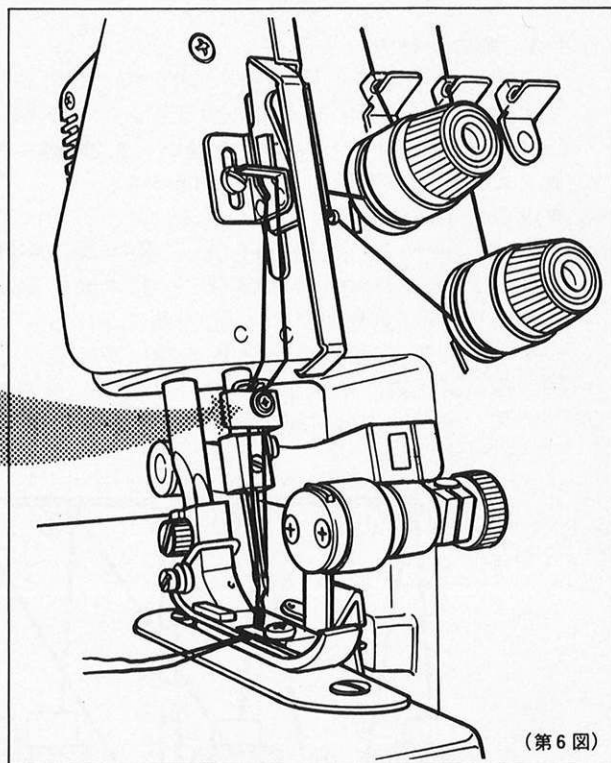
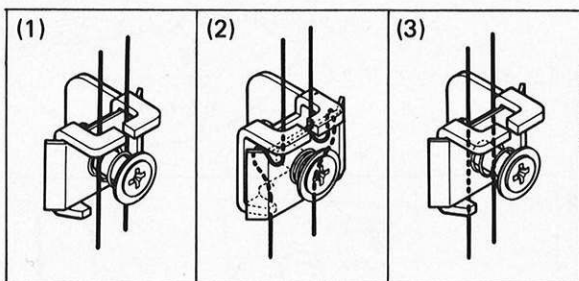


(第5図)



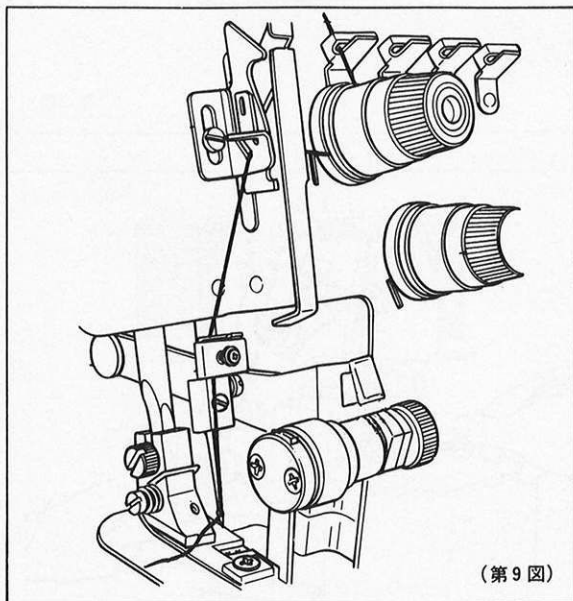
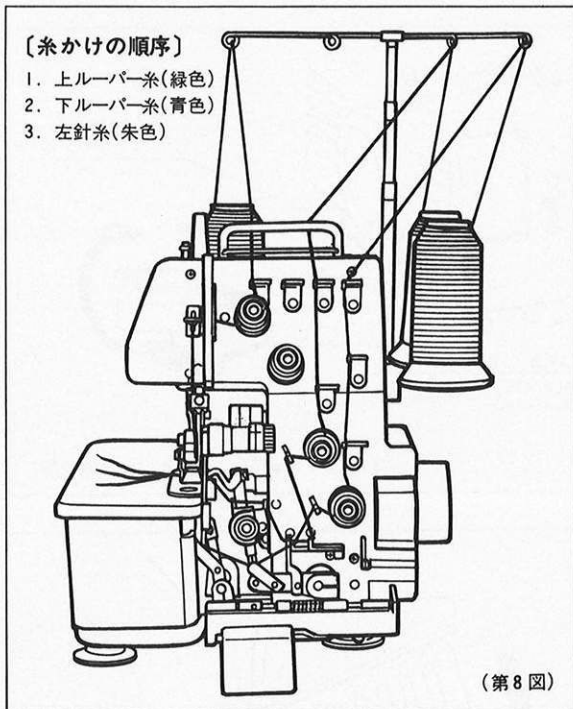
BL3-436DF型の  
下ルーパー部の糸かけ。

- 針穴には手前から向う側に糸を通す。
- 糸かけの終わった4本の糸は、押え金の下から左方向に約10cm引き出しておく。(図7)
- メスカバー、下側面カバーを閉じる。



[b. 1本針3本糸オーバーロック縫いの糸かけ]

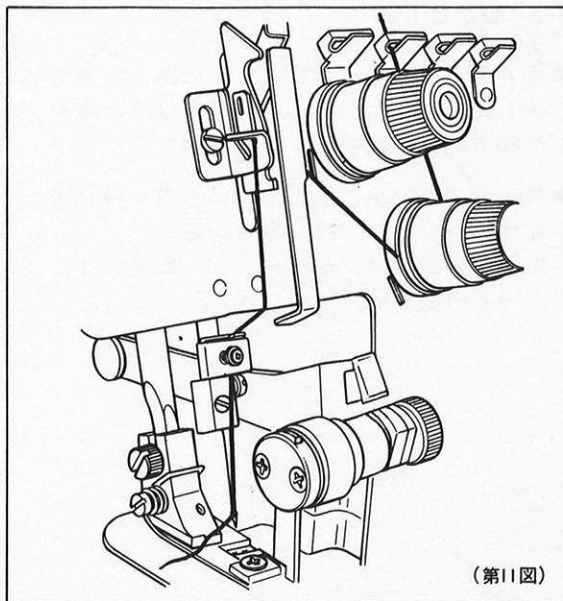
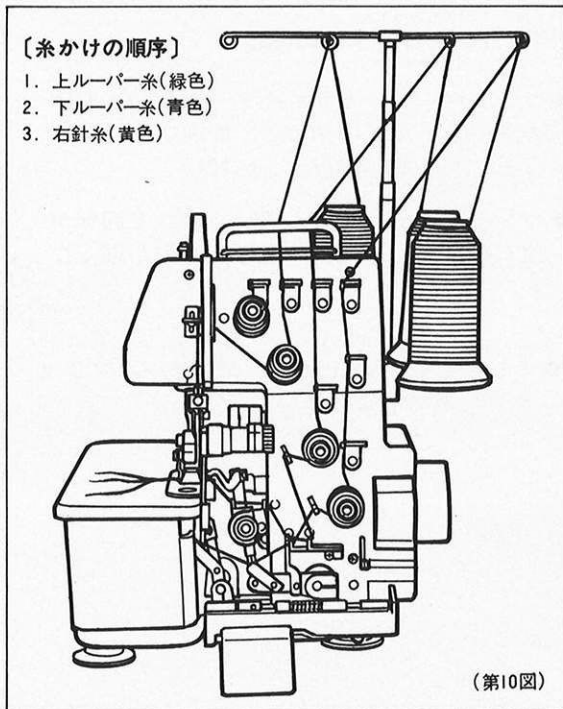
— 6.2%幅、左針使用 —



● 6.2%幅オーバーロック縫いの場合、左針だけを使用。(図9)

[c. 1本針3本糸オーバーロック縫いの糸かけ]

— 4.0%幅、右針使用 —



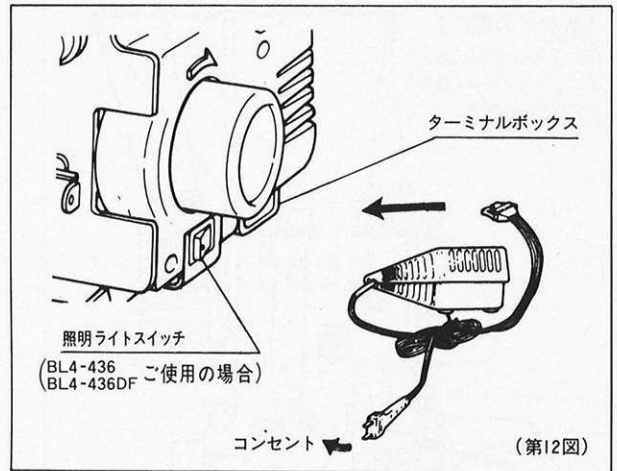
● 4.0%幅オーバーロック縫いの場合、右針だけを使用。(図11)

# 2 縫いはじめと糸の簡単な交換

## 2-1 コントローラーの接続

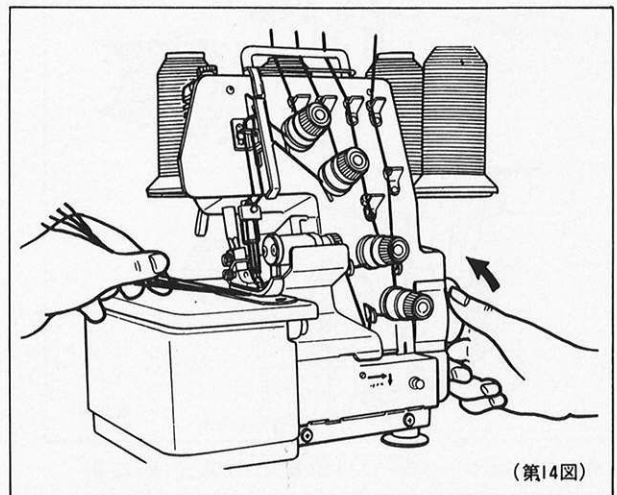
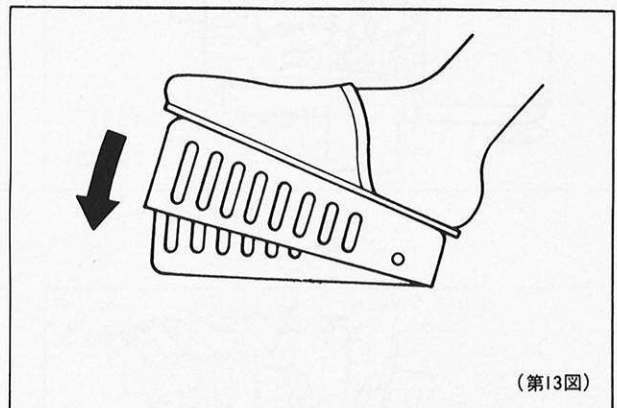
- コントローラーのコネクターをミシン本体のターミナルボックスに、電源プラグをコンセントに差し込む。(図12)
- コントローラーは強く(深く)踏むと回転が速くなり、弱く(浅く)踏むと回転が遅くなる。(図13)

※ミシンご使用後はコントローラーのプラグをコンセントより抜いて下さい。



## 2-2 縫いはじめ

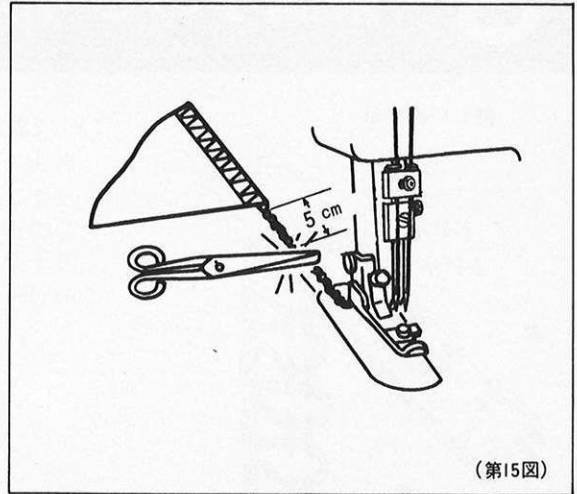
- 押え金の下から出ている4本の糸を左手で少し張り気味につまみ、右手ではずみ車を矢印方向に数回廻わす。(図14)
- 押え金の爪に糸がからんでいる事を確認後、布地をセットして縫いはじめる。糸調子の調節は、P7、「3糸調子のとり方」の項参照。



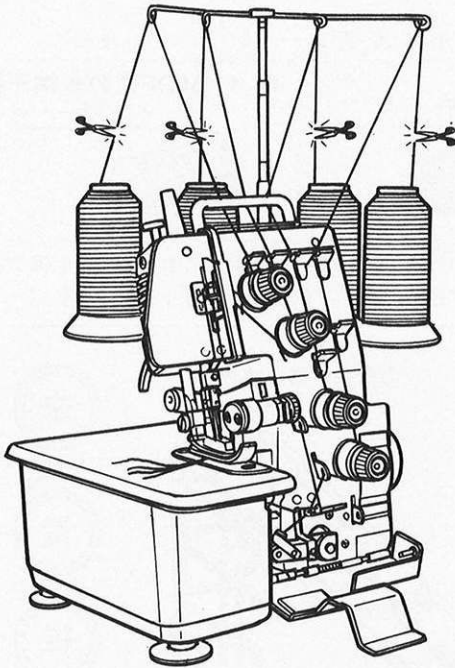


## 2-3 縫い終わり

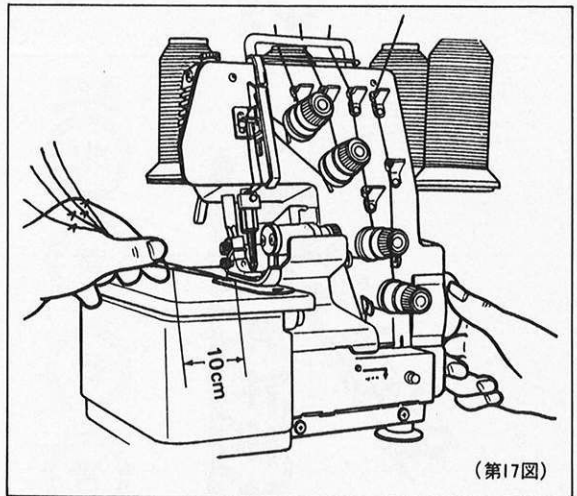
- 縫い終わりは布地の端から約5 cm長く空縫いをして切る。(図15)



(第15図)



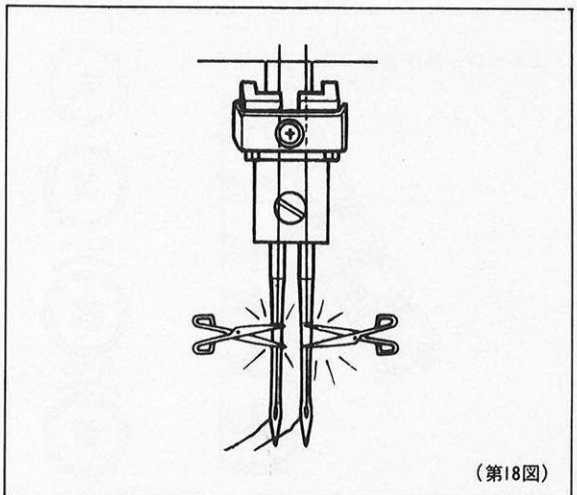
(第16図)



(第17図)

## 2-4 糸の簡単な交換

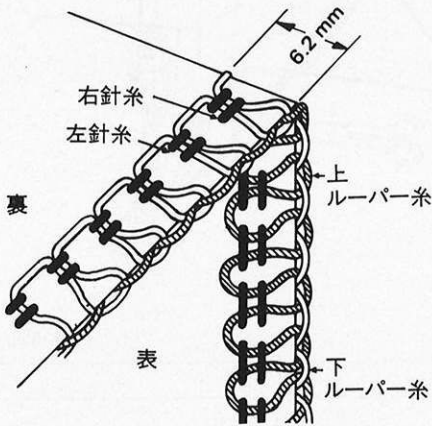
- 4本の糸を糸巻きの近辺で切り、それぞれ交換する糸と結ぶ。(図16)
  - 押え金を上げる。
  - 各糸調子器の二枚の皿を指で開き(糸がスムーズに流れるように)、糸の結び目が押え金のうしろに出るまで、1本1本糸を引き出す。(図17)
- ⑧ 針糸は結び目が針穴手前まで来た時、いったん結び目をはさみで切り、再び針穴に通し直す。(図18)



(第18図)

# 3 糸調子のとり方

美しい縫い目

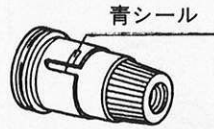


[a. 2本針4本糸オーバーロック縫い—6.2mm幅—の糸調子]

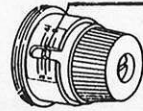
糸調子は布地や糸の種類によって異なります。

まず、各糸調子器のツマミの端を青シール中央にセットしてから、美しい縫い目になる様に、ツマミで微調整して下さい。

尚、BL4-436DF型には、青シールが付いていません。

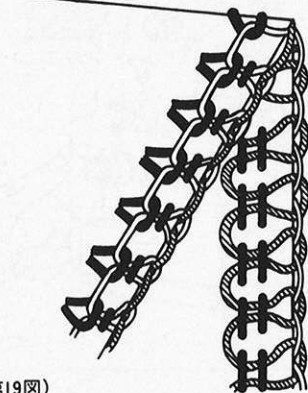


BL4-436DF型の糸調子器  
インジケーター



④各糸調子器のツマミを●右へ廻らすと、糸調子は強くなり、●左へ廻らすと、糸調子は弱くなります。

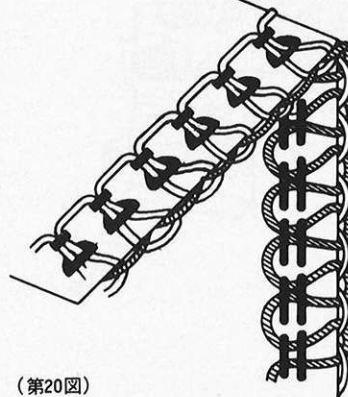
左針糸が弱い場合



(第19図)



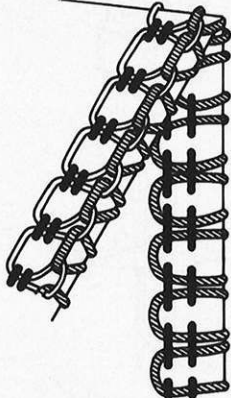
右針糸が弱い場合



(第20図)



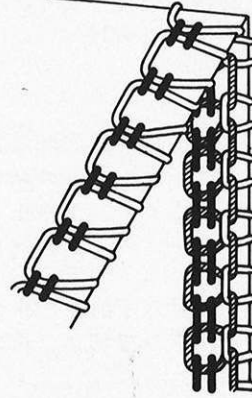
上ルーバー糸が裏側に巻き込む場合



(第21図)



下ルーバー糸が表側に巻き込む場合

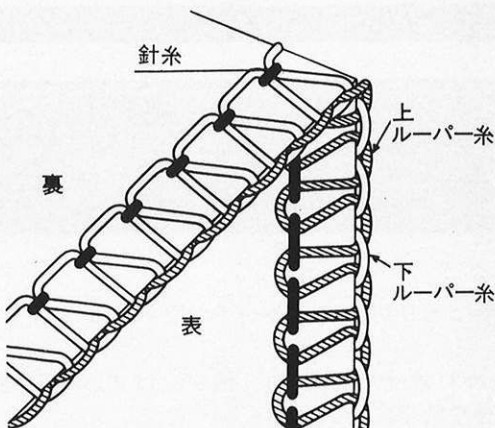
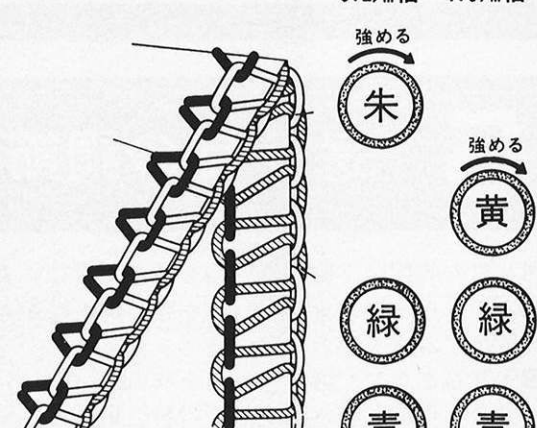
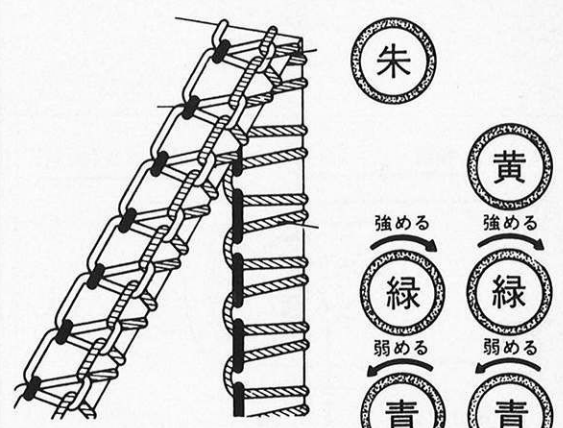
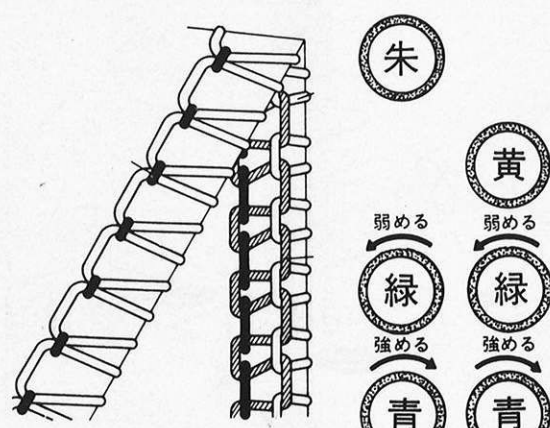


(第22図)



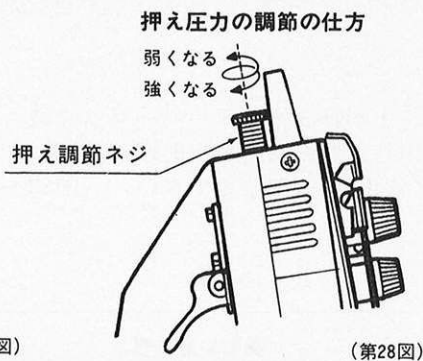
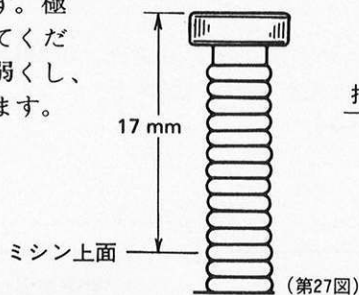
- b. 1本針3本糸オーバーロック縫い—6.2%幅—の糸調子
- c. 1本針3本糸オーバーロック縫い—4.0%幅—の糸調子

1本針3本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方は、6.2%幅も4.0%幅も同様です。但し、針糸調子器は6.2%幅の場合は左針糸調子器(朱色)を、又、4.0%幅の場合は右針糸調子器(黄色)で調整して下さい。(図23~26)

|  |  |
|--|--|
| <p style="text-align: center;"><b>美しい縫い目</b></p>  <p style="text-align: center;">(第23図)</p>  | <p style="text-align: center;"><b>針糸が弱い場合</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6.2%幅</p> <p>強める</p> <p>朱</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>4.0%幅</p> <p>強める</p> <p>黄</p> </div> </div>  <p style="text-align: center;">(第24図)</p> |
| <p style="text-align: center;"><b>上ルーバー糸が裏側に巻き込む場合</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6.2%幅</p> <p>朱</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>4.0%幅</p> <p>黄</p> </div> </div>  <p style="text-align: center;">(第25図)</p> | <p style="text-align: center;"><b>下ルーバー糸が表側に巻き込む場合</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6.2%幅</p> <p>朱</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>4.0%幅</p> <p>黄</p> </div> </div>  <p style="text-align: center;">(第26図)</p>             |

# 4 押え圧力の調節

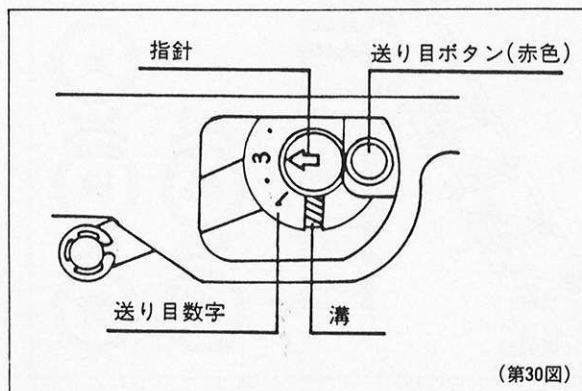
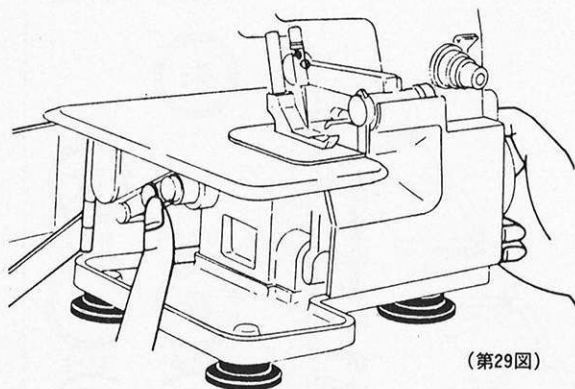
このミシンはすでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください。薄い生地には押え圧力を弱くし、厚い生地には押え圧力を強くします。



# 5 送り目の調節

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ①左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻らす。
- ②送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再び、はずみ車を廻らすと、指針が動きます。この時、指針を希望の送り数字に合わせる。



# 6 メスの交換について

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

メスが切れなくなった場合通常下メスを交換してください。

## 6-1 下メスの取りかえ方

上メスがいちばん上った位置で行ってください。

- ①下メス補助ねじを左に45度(1/8回転)回して、下メスの押し付けを解除します。

(図32)

- ②次に下メス取付板止ねじをゆるめて下メスを外す。(図32)

- ③新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて差し込み、下メス刃先が針板上面と同じ高さになるようにして、下メス取付板止ねじを締めつけます。

(図33)

- ④次に下メス補助ねじを右に45度(1/8回転)回して、下メスを押し付けます。

(図33)

※下メス補助ねじ、下メス取付板止ねじ、共に付属のドライバーで操作して下さい。

## 6-2 上メスの取りかえ方

(上メスは長寿命の特殊な材質が使われていますので通常交換の必要はありません。)

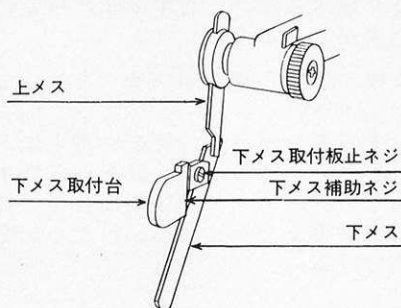
上メスがいちばん下った位置で行なってください。

- ①上メス取付ねじをゆるめて、上メス取付板と上メスを外す。(図34-1)

- ②新しい上メスと上メス取付板を上メス取付ねじで仮止する。

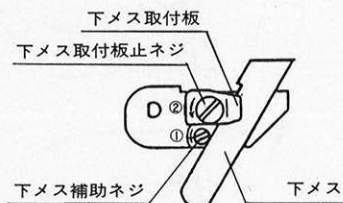
- ③上メスの手前刃先が下メス刃先位置に対して1mmほど噛み合うように位置決めし、上メス取付ねじを締めつけます。

(図34-2)



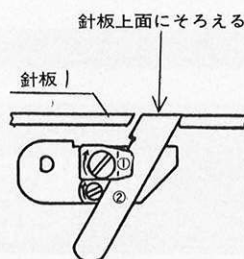
(第31図)

### 下メス取りはずし図

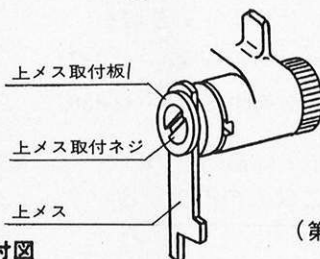


(第32図)

### 下メス取付図

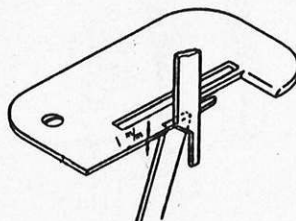


(第33図)



(第34-1図)

### 上メス取付図



(第34-2図)

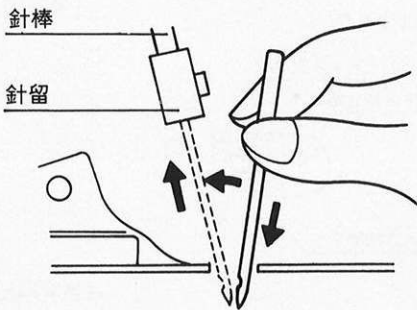
# 7 針の交換

針を交換する場合、必ず下記の指定針をご使用下さい。針の種類を間違えますと、目飛びや縫えない事があります。

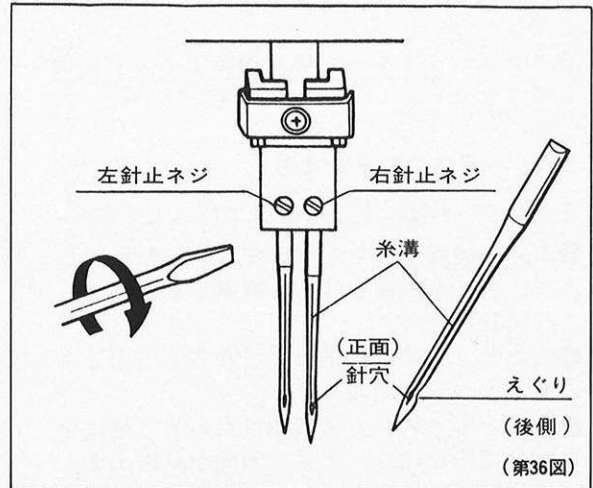
針交換の際は必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

- はずみ車を廻らし、針を一番上にあげる。
- 針止ネジをゆるめて、針を取り外す。
- 新しい針のエグリを後側にして、針留の穴の一番奥まで差し込み、針止ネジを固く締め付ける。

|     |             |           |
|-----|-------------|-----------|
|     | BL4-434・436 | BL4-436DF |
| 指定針 | DC×1F       | DC×1      |



(第35図)

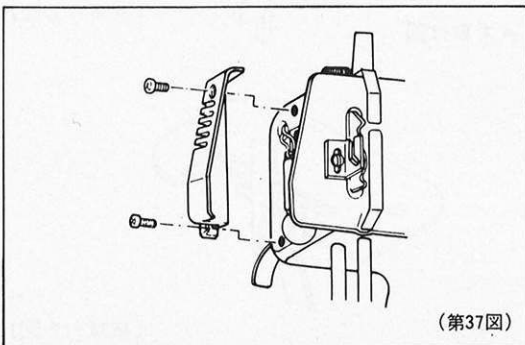


(第36図)

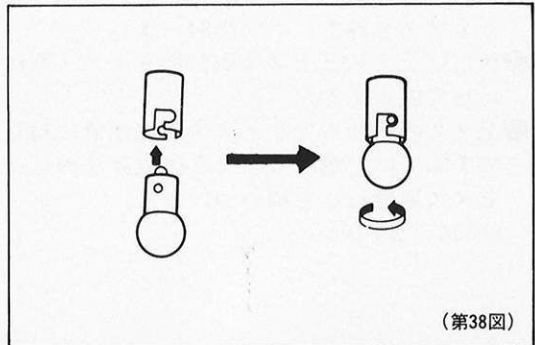
# 8 照明ライトの交換 BL4-436 BL4-436DF ご使用の場合

- 照明ライトスイッチを切る。
- ライトカバーを外す。(図37)
- ライトを交換する。(図38)

※尚、ライトは最寄りのガソリンスタンド、カーショップ、ベビーロック取扱店でお求めになります。ご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V 6W)とご指定下さい。



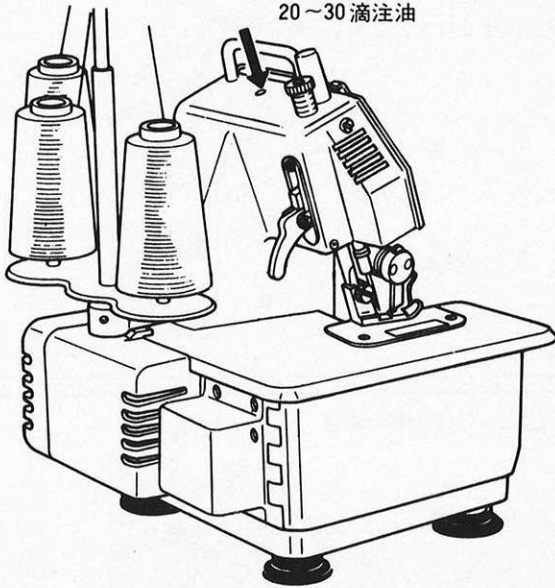
(第37図)



(第38図)

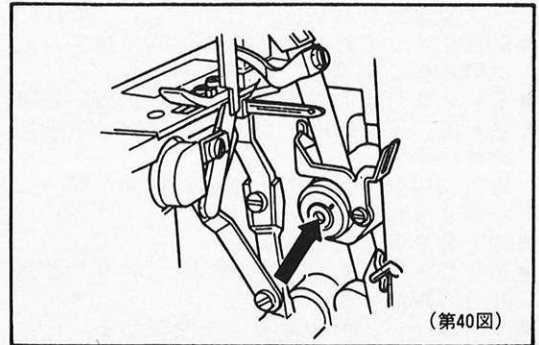
# 9 注 油

この個所のみ  
20~30滴注油



(第39図)

このミシンの大切な個所にはすべて特殊な材料(含油メタル)を用いておりますが、図の矢印の個所に定期的に1~2滴注油してください。



(第40図)

# 10 点検と調整

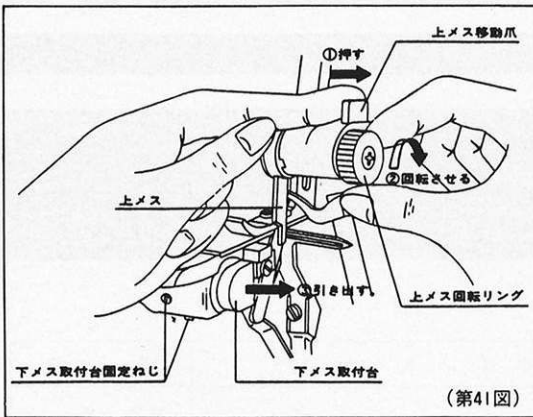
| 現 象       | チェックポイント   | ペ ー ジ   |
|-----------|--|---|
| 糸 切 れ     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> <li>●糸調子の調節は正しいですか。</li> <li>●針は曲っていませんか。</li> <li>●BL4-434・436はDC×1F, BL4-436DFはDC×1の指定針を使用していますか。</li> <li>●針は正しく取付けられていますか。</li> </ul> | P 2, 3, 4<br>P 7, 8, 13<br>P 11<br>P 11<br>P 11 |
| 目 飛 び     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●針が曲ったり、針先がすり減っていませんか。</li> <li>●針は正しく取付けられていますか。</li> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> <li>●押え圧力の調節は適当ですか。</li> </ul>   | P 11<br>P 11<br>P 2, 3, 4<br>P 9                |
| 縫い目の調子が悪い | <ul style="list-style-type: none"> <li>●糸調子の調節は正しいですか。</li> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> </ul>  | P 7, 8, 13<br>P 2, 3, 4                         |

# 巻きロックとして使用する場合

このミシンは右針を使用する1本針3本糸オーバーロック縫いで巻きロックが出来ます。

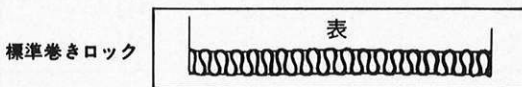
## 11-1 針板の交換

- メスカバー、下側面カバーを開ける。
- 針を一番上にあげ、押え金を取り外す。
- 上メスを上に回転させる。  
(図41)
- 下メス取付台固定ネジ(2本)をゆるめ、下メス取付台を右方向へ引き出す。(図41)
- 針板止ネジを外し、針板を付属の巻きロック用針板に交換し、ネジ止めする。
- 下メス取付台を左方向へ寄せ、針板に密着させて、下メス取付台固定ネジ(2本)を締め付ける。  
※この場合下メスの上端と針板面が同一になるように固定する。
- 押え金を取り付ける。
- 送り目を1~1.5mmにする。(P9「5送り目の調節」参照)
- メスカバー、下側面カバーを閉じる。

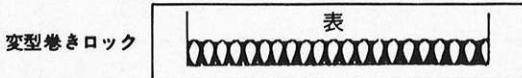


(第41図)

## 11-2 糸調子のとり方

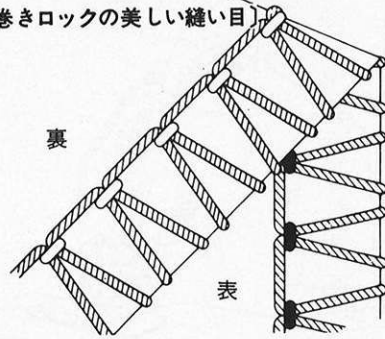


- 標準巻きロックの糸調子のとり方は1本針3本糸オーバーロック縫いの場合と同じですので、P8、図23~26を参照して下さい。



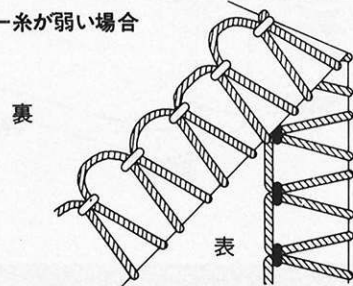
- 変型巻きロックの糸調子のとり方は図42~45を参照して下さい。

[変型巻きロックの美しい縫い目]



(第42図)

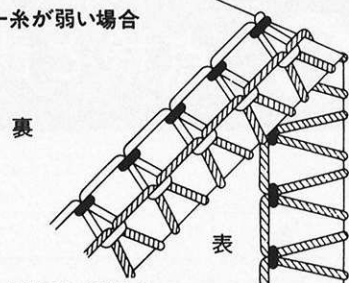
上ルーバー糸が弱い場合



上ルーバー糸調子器を強める。

(第43図)

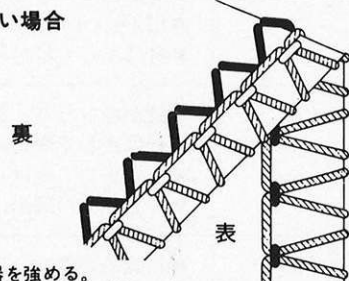
下ルーバー糸が弱い場合



下ルーバー糸調子器を強める。  
又は、上ルーバー糸調子器を弱める。

(第44図)

針糸が弱い場合



針糸調子器を強める。  
又は、上ルーバー糸調子器と  
下ルーバー糸調子器を弱める。

(第45図)



# 12 BL4-436DFで伸縮縫いをする場合

BL4-436DF型は、あらゆる素材を美しく仕上げる「差動送り機構」を装備し、布地を伸ばしたり、縮めたりしながら縫う事ができます。

操作は本体右側面の「差動切換レバー」でおこないます。

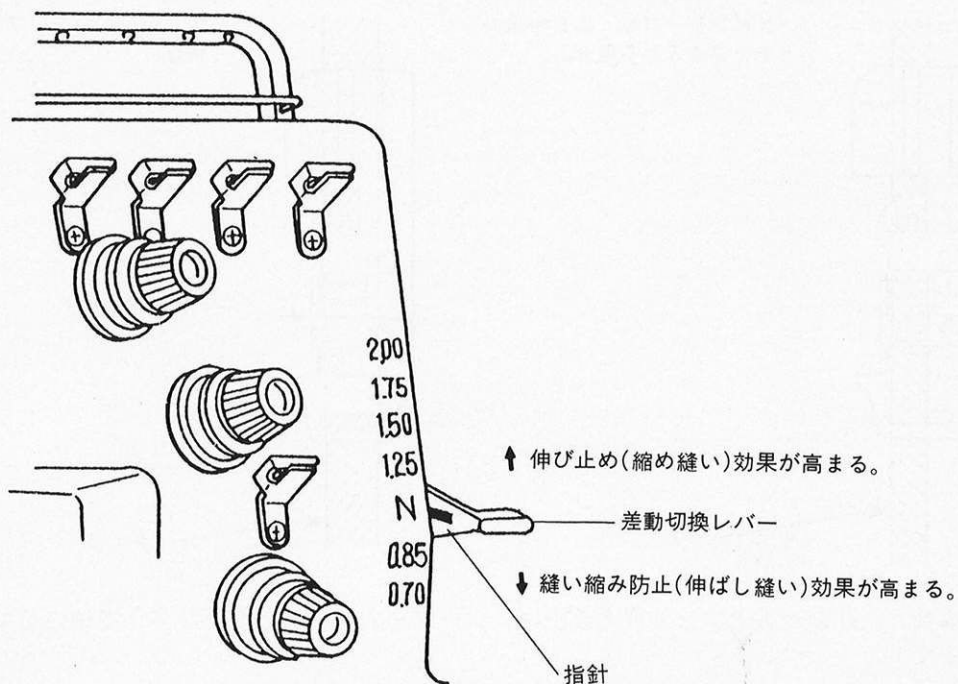
- 伸びやすい布地の伸び止めをする場合  
縮め縫いをする場合 } → レバーの指針をNより上の数字にセットして縫う。

※数字がNより大きくなるに従い、伸び止め（縮め縫い）効果が高まる。

- 薄地等の縫い縮みを防止する場合  
伸ばし縫いをする場合 } → レバーの指針をNより下の数字にセットして縫う。

※数字がNより小さくなるに従い、縫い縮み防止（伸ばし縫い）効果が高まる。

- レバーの指針が「N」にセットされている時は、差動効果のない普通の状態です。



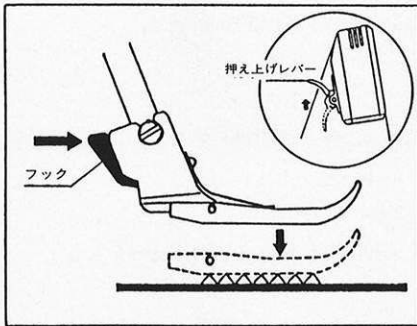
# 13 バルキー押え金を使用する場合

バルキーニットの縫製やいせ込み量を多くしたい時、又、各種のテープを入れて縫う時は付属のバルキー押え金をご使用下さい。

## 押え金の交換

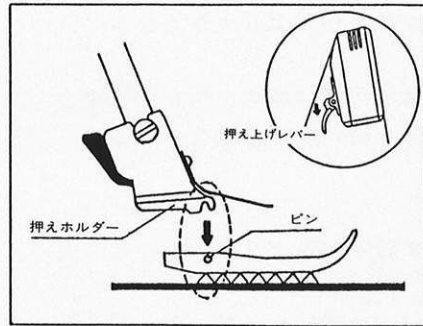
### 〔押え金の取り外し〕

- ①押え上げレバーで押え金を上げる。
- ②フックを押し、押え金を外す。

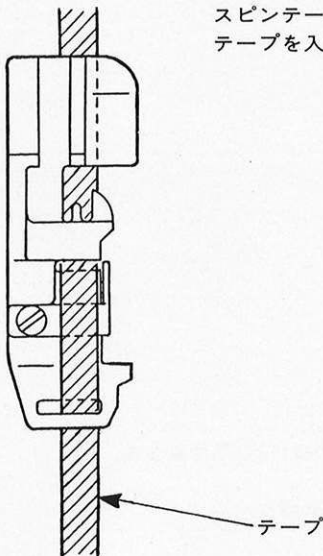


### 〔押え金の取り付け〕

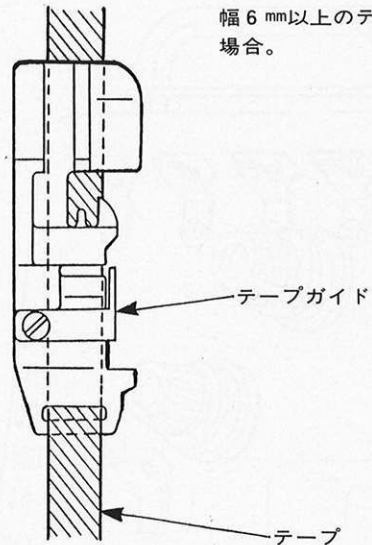
- ①押え金のピンが、押えホルダーの下にくるように置く。
- ②押え上げレバーを下げて、ホルダーと押え金を取り付ける。



## テープ縫いの方法



スピントープ等、幅6mm迄のテープを入れる場合。



幅6mm以上のテープを入れる場合。

何れの場合も、針を一番上にして押えを上げ、テープを入れ、押えを下げて、空縫いしてから縫い始めます。

(肩線等には、別売のウーリースピントープをお使い下さい。)

# 14 布地と糸の関連表

|      | 布地の種類                            | 糸  | 針      |
|------|----------------------------------|--|--------|
| 木綿麻  | 〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など      | テトロン #100<br>スパン #90                                   | #11    |
|      | 〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルティング、ギャバジンなど | スパン #90~60<br>綿 #80~60                                 | #11~14 |
| 絹    | デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど            | 絹 #100<br>テトロン #100                                    | #11    |
| 毛    | 〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど            | スパン #90<br>テトロン #80<br>綿 #80                           | #11    |
|      | 〔普通地〕* サージ、ギャバジン、フラノなど           | スパン #90~60<br>テトロン #80~60<br>絹 #50                     | #11~14 |
|      | 〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストラカンなど           | スパン #60<br>テトロン #60~50<br>絹 #50 綿 #60~50               | #14    |
| 化繊混紡 | 〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど            | スパン #90<br>テトロン #100                                   | #11    |
|      | 〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど             | スパン #90<br>テトロン #80~60                                 | #11~14 |
|      | トリコット (化繊、合繊)                    | スパン #90<br>テトロン #80~60                                 | #11    |
|      | ジャージ (毛、合繊)                      | スパン #60<br>テトロン #60<br>ウーリー糸(ナイロン・テトロン)                | #11~14 |
|      | 毛糸編地                             | スパン #60<br>テトロン #60~50<br>ウーリーナイロン<br>ウーリーテトロン<br>極細毛糸 | #14    |

## 〔巻きロックの場合〕

|    | 布地の種類                 | 糸  | 針   |
|----|-----------------------|--|-----|
| 木綿 | ボイル、ローン、ブロード、ギンガムなど   | テトロン#80とウーリーナイロン<br>スパン #90~80<br>テトロン #80 | #11 |
| 絹  | デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど | テトロン #100<br>絹 #100                        |     |
| 化繊 | ジョーゼット、ボイル、サテンなど      | テトロン#80とウーリーナイロン<br>テトロン #100              |     |

# 梱包明細

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. ミシン</p> <p>2. コントローラーセット</p> <p>3. 頭部ビニールカバー</p> <p>4. ご使用のてびき</p> <p>5. 保証書</p> | <p>6. アクセサリーケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 巻きロック用針板</li> <li>● ハルキー押え金(BL4-436DF用)</li> <li>● ドライバー(マイナス用)</li> <li>● 針</li> <li>● 下メス</li> <li>● ピンセット</li> <li>● 掃除用ブラシ</li> <li>● 油差し</li> <li>● 本駒受け</li> <li>● ベビーネット</li> <li>● ラクラク糸通し</li> </ul> |
|--|--|

# 仕様表

|          |  |
|----------|--|
| かがり巾     | ・ 2本針4本糸オーバーロック 6.2 $\phi$ ・ 巻きロック 1.5 $\phi$<br>・ 1本針3本糸オーバーロック 6. 2 $\phi$ 、4.0 $\phi$ |
| 縫い目(送り目) | BL4-434・436は1~5 $\phi$ 、BL4-436DFは1~4 $\phi$   |
| 差動比      | 0.7~2.0 (BL4-436DF)  |
| メス上下量    | 6.3 $\phi$   |
| 押え上り量    | 6.0 $\phi$   |
| 送り歯高さ    | 0.7 $\phi$ (標準)  |
| 使用針      | BL4-434・436はDC $\times$ 1F、BL4-436DFはDC $\times$ 1                                       |
| 使用糸本数    | 4本、3本  |
| 照明ライト    | 12V 6W   |
| ミシンの大きさ  | 250 $\phi$ 、250 $\phi$ 、260 $\phi$   |
| ミシンの重さ   | 6.5kg(モーター付完成品)  |

※都合により使用書の内容を一部変更する場合があります。